

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公表番号】特表2010-522406(P2010-522406A)

【公表日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-554501(P2009-554501)

【国際特許分類】

G 11 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 11 B 20/10 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月30日(2010.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

方法であって、

セットトップ・ボックスにおいて未解決の電力喪失を示す電力障害信号を検出する工程と、

前記電力障害信号に応じて信号を生成する工程と、

記憶されたデータを破損することなく、データ記憶を停止させるための制御信号を出力する工程とを含む方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法であって、前記制御信号は記憶媒体のコントローラ回路への、直ちにスタンバイに移行する旨の修正コマンド(MSIコマンド)である方法。

【請求項3】

請求項2記載の方法であって、前記記憶媒体の前記コントローラ回路は、現在のデータ書き込み動作を完了し、更なる書き込み動作を中止する方法。

【請求項4】

請求項2記載の方法であって、前記生成する工程は、前記MSIコマンドが発出されており、前記記憶媒体への書き込み動作は、前記MSIコマンドによって管理される旨の肯定応答信号をコントローラに送出する工程を更に含む方法。

【請求項5】

請求項2記載の方法であって、キャッシュされた残りのデータを廃棄する工程を更に含む方法。

【請求項6】

請求項5記載の方法であって、前記廃棄する工程は、前記電力障害信号の終了時の、キャッシュ・メモリへの電力の喪失によって行われる方法。

【請求項7】

装置であって、

記憶装置にコマンドを供給するよう構成されたコントローラと、

セットトップ・ボックスにおける未解決の電力障害の場合に前記コントローラに早期電力障害(EPF)信号を供給する回路と、

前記コントローラと通信するコントローラ回路を有する記憶装置と、

前記記憶装置にコマンドを供給する手段とを備え、前記コマンドは、前記記憶装置が現在のデータ書込みを完了し、更なる書込み動作を中止する旨を示す装置。

【請求項 8】

請求項 7 記載の装置であって、前記供給する手段は、

前記現在のデータ書込み動作を完了した後に残っているキャッシュされたデータを廃棄する手段を更に備える装置。

【請求項 9】

請求項 7 記載の装置で、前記コマンドが発出されており、前記記憶装置の前記書込み動作が前記コマンドによって管理されている旨を示す肯定応答信号を前記コントローラに供給する手段を更に備える装置。

【請求項 10】

請求項 8 記載の装置であって、前記廃棄する手段は、前記 E P F 信号の終了時に、前記キャッシュされたデータを保持しているキャッシュ・メモリへの電力の喪失を含む装置。

【請求項 11】

セットトップ・ボックスの要素間での通信に使用するためにコンピュータ読取り可能なプログラム・コードを実施させたコンピュータ使用可能な媒体を備えるコンピュータ・プログラム・プロダクトであって、

記憶装置に電力を供給する回路からの早期電力障害(E P F)信号を検出するためのプログラム・コードと、

前記記憶装置のコントローラ回路にコマンドを発出するためのプログラム・コードと、

前記コマンドが発出されると現在のデータ書込み動作を前記記憶装置の前記コントローラ回路に完了させるためのプログラム・コードと、

前記記憶媒体への更なる書込み動作を中止するためのプログラム・コードとを備えるコンピュータ・プログラム・プロダクト。

【請求項 12】

請求項 11 記載のコンピュータ・プログラム・プロダクトであって、前記コマンドが発出されており、前記記憶媒体への前記書込み動作が前記コマンドによって管理されている旨を示す肯定応答信号をコントローラに送出するためのプログラム・コードを更に備えるコンピュータ・プログラム・プロダクト。